

第 23 回インフルエンザ研究者交流の会シンポジウムプログラム
期日：2009 年 7 月 3 日（金） - 5 日（日）

会場：東京大学医科学研究所1号館講堂（港区白金台4-6-1）
会長：西村 秀一（国立病院機構仙台医療センター）

7 月 3 日（金）

12:00 - 12:55 Registration

12:55 - 13:00 Opening Remarks 西村会長

13:00 - 14:40 一般演題（1）レセプター、糖鎖

座長：鈴木康夫（中部大）山中隆史（JRA総研）

1. 馬インフルエンザウイルスの異種宿主間伝播 ○山中隆史, 根本 学, 辻村行司, 近藤高志, 松村富夫 (JRA総研栃木)
2. ウマおよびイヌの呼吸器におけるインフルエンザウイルスレセプターの分布
○村中雅則、山中隆史、片山芳也（JRA総研）、左 一八、金澤寛明、鈴木隆（静岡県立大）
3. 伸長度の異なるシアロ糖鎖に対するインフルエンザウイルス結合性
南島陽平1、○左一八1、三輪好伸2、山中隆史3、尾形慎4、村田健臣4、碓氷泰市4、高橋忠伸1、鈴木 隆 1（1静岡県大・薬・生化、2静岡環衛研、3JRA総研栃木支所、4静大・農・応用生化）
4. グルコースを付加したhesperidinのインフルエンザA型ウイルス阻害効果
Repon Kumer Saha, 高橋忠伸, 南島陽平, 吉野宏毅, 左一八, ○鈴木 隆（静岡県大・薬・生化学）
5. インフルエンザウイルスヘマグルチニンの糖鎖付加ポテンシャルの予測
○五十嵐学、伊藤公人、高田礼人（北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター）

14:40 - 14:50 Coffee Break

14:50 - 16:10 一般演題（2）分子生物学、C型インフルエンザウイルス

座長：五藤秀夫（東大医科研）伊藤正恵（長浜バイオ大）

6. ユビキチン関連因子によるインフルエンザウイルスの細胞内増殖制御
○下平 義隆1, 3、芝田 敏克1、黒田 和道1、佐々木 裕3、田中 寅彦2、早川 智1、清水 一史1, 3 (日本大学医学部 1:微生物、2:感染制御、3:産婦人科 (オープンリサーチセンター整備事業プロジェクト))
7. インフルエンザM1タンパク質可視化による機能解析
○芝田 敏克、早川 智、清水 一史、黒田和道（日大）
8. C型インフルエンザウイルスの粒子形成機構に関する一考察
○村木 靖1、高下恵美3、松寄葉子2、菅原勘悦1、本郷誠治1（山形大・医・感染症1、同・臨床看護2、感染研3）
9. C型インフルエンザウイルスの増殖におけるCM2蛋白の役割
○古川孝俊 1、村木 靖 1、高下恵美 4、菅原勘悦 1、野田岳志 2、松寄葉子 3、本郷誠治 1（山形大・医・感染症 1、東大医科研・ウイルス感染 2、山形大・医・臨床看護 3、感染研・インフルエンザ研究セ

ンター 4)

16:10-17:50 一般演題 (3) 疫学、抗体、H5N1インフルエンザウイルス

座長：藤井豊 (川崎医大) 加瀬哲男 (大阪府公衛研)

10. インフルエンザウイルスHA亜型間交差中和活性を有するモノクローナル抗体

○吉田玲子1、五十嵐学1、苜米地大輔1、尾崎弘一2、喜田宏1、高田礼人1 (1北大 2鳥取大)

11. インドネシアにおける2008-2009の季節性インフルエンザについて

○山岡政興1, Mia Dewisavitry2, Ema Qurnianingsih2, J. F. Palilingan2, C. A. Ndom2, 新矢恭子1, 河岡義裕1、3 (1神戸大、2アイルランガ大、3東大)

12. H5N1型インフルエンザヘマグルチニンに特異的なヒト一本鎖抗体の単離

○Yang JiuPian1, 北本祥1, 假屋裕貴1, 橋口周平1, 伊東祐二1, 杉村和久1 (1鹿大・工・生体工)

13. H5N1型インフルエンザHAを提示するファージライブラリの構築

○北本祥1, Yang JiuPian1, 假屋裕貴1, 橋口周平1, 伊東祐二1, 杉村和久1 (1鹿大・工・生体工)

14. わが国の野生アライグマにおけるH5N1高病原性鳥インフルエンザウイルスの感染

○堀本泰介1、村上晋1、木曾真紀1、岩附研子1、河岡義裕1、前田健2 (1東大・医科研、2山口大・農)

17:50 - 17:55 挨拶と意見交換会の案内

杉田世話人

18:00 - 20:00 意見交換会 (東大医科研生協 白金ホール)

7月4日(土)

9:00 – 9:30 Registration

9:30 – 12:00 シンポジウム(1)

H5N1インフルエンザウイルスの現状とワクチンの現状

座長： 城野洋一郎(化血研) 増田道明(獨協医科大学)

15. 鳥、ブタ、そしてパンデミックインフルエンザ

喜田 宏(北大・人獣共通感染症リサーチセンター)

16. 沈降インフルエンザワクチンH5N1の現状

庵原俊昭(国立病院機構三重病院)

17. Development of Effective Tools for Management of Pandemic Influenza H5N1

野呂信弘(グラクソ・スミスクライン)

18. ディスカッションと双方向通信によるシンポジウム参加者のリアルタイム意識調査
(その1) H5インフルエンザ

増田道明(獨協医科大学)

12:20 – 13:00 ランチョン特別講演 (昼食：弁当)

座長 本郷誠治(山形大)

19. A(H1N1)新型インフルエンザの世界の現状と今後予想される展開

押谷仁(東北大)

20. WHOの新型インフルエンザ治療ガイドライン会議の話

菅谷憲夫(けいゆう病院)

13:20 – 14:30 シンポジウム(2) 追悼：「大谷先生を偲ぶ」

座長：菅谷憲夫(けいゆう病院) 清水一史(日本大学)

21. 大谷博士と共に歩んで一疫学の中に男のロマンがあった

根路銘国昭(生物資源研)

22. 大谷明先生との思い出—釣りとき話

城野洋一郎(化血研)

23. 大谷先生—わが師、わが友

本間守男

14:40 – 16:20 シンポジウム(3) ブタ由来新亜型H1N1ウイルスを考える

座長 杉田繁夫(JRA総研) 高橋和郎(大阪府公衛研)

24. ブタインフルエンザとアウトブレイク(仮題)

根路銘国昭(生物資源研)

25. 南半球の情報

オーストラリアの対策

齋藤玲子(新潟大)

メキシコ・中南米のネット情報

西村秀一(仙台医療センター)

26. ゲノム配列から見た新型H1N1ウイルス

杉田繁夫 (JRA総研)

27. 新型インフルエンザウイルスのレセプター結合特異性に関する一考察

鈴木康夫 (中部大)

28. 小児医療からみた新型インフルエンザ対策の問題点

○森島恒雄 斎藤有希恵 長岡義晴 津下充 八代将登 山下信子 安井耕三
(岡山大学小児科)

16:20-16:40 Coffee Break

16:40-18:40 (ただし、18時から20分程度弁当配布休憩あり)

新型インフルエンザ：現場の話－感染研と衛生研究所から

座長 山岡政興 (神戸大) 島田慎一 (埼玉県衛生研究所)

29. インフルエンザセンターの紹介と、今回の新型インフルエンザA/H1N1ウイルスのはなし(仮題)

小田切孝人 (感染研)

30. 横浜市における新型インフルエンザ検査状況

○川上千春 宇宿秀三 七種美和子 百木智子 熊崎真琴 高津和弘 池淵守
蔵田英志 岩田真美 豊澤隆弘 (横浜市衛研)

31. 新型インフルエンザウイルスの診断の経験 (仮題)

渡辺寿美 (神奈川県衛研)

32. 新型インフルエンザに対する地方衛生研究所の対応 (予定)

小川知子 (千葉衛研)

33. 大阪府における新型インフルエンザの対応

○加瀬哲男、森川佐依子、廣井聡 (大阪府公衛研)

夕食配布 18時ころ

現場の話を総合討論 (食事をしながら、18:20 - 18:40ごろまで)

18:40 - 20:00 総合討論

Discussion Time モデレーター

黒田和道・西村秀一・増田道明

34. Closing Event 双方向通信によるシンポジウム参加者のリアルタイム意識調査 (その2)

増田道明 (獨協医科大学)

7月5日(日)

9:00-9:30 Registration

9:30-12:10 パンデミック・シンポジウム(4)

現行の抗インフルエンザ薬

座長 田村大輔(東大医科研) 村木 靖(山形大)

35. タミフル関連情報のアップデート

上園 健(中外製薬)

36. リレンザ情報と供給体制

森本一路(グラクソ・スミスクライン)

37. タミフル耐性ウイルスのはなし

田村大輔(東大医科研)

38. アマンタジン耐性株の進化様式への考察

○古瀬祐気、鈴木陽、押谷 仁(東北大)

実用化間近の新薬のはなし

39. 長期作用型ノイラミニダーゼ阻害薬 CS-8958の紹介

山下 誠(第一三共)

40. 新規抗インフルエンザ薬ペラミビル

○吉田 立、吉永 智一、山野 佳則、馬場 正隆、福山 秀宣、税所 優(塩野義製薬)

将来の候補

座長 黒田和道

41. インフルエンザウイルスゲノム複製におけるウイルス因子と宿主因子の分子基盤

永田恭介(筑波大)

42. CTL誘導型インフルエンザワクチン

内田哲也(感染研 血液・安全性)

昼食 (12:10-13:00) お弁当

13:00-14:40 一般演題(4) 新しい診断法開発に向けた試み

座長 高田礼人(北大)

43. 糖鎖固定化金ナノ粒子を用いたインフルエンザウイルスの高感度検出

張 旭、青山和枝、○隅田泰生(鹿児島大院理工、スティックスバイオテック)

44. 連続自動化遺伝子分析装置(バイオマイスターBM-03)を用いたマルチプレックス

RT-PCR法によるインフルエンザウイルス遺伝子検査法の確立

○林仲信(1,2)鈴木高祐(2)、山本樹生(3,4)、清水一史(4) (1;ジーンワールド株式会社、2;聖路加国際病院病理診断科、3;日本大学医学部産婦人科学分野、4;日本大学医学部感染症ゲノム研究センター)

14:40-15:00 一般演題(5) 臨床から

座長 田村大輔(東大医科研)

44. インフルエンザ感染防御対策 -家庭内感染と学校内感染より-

廣津伸夫(日本臨床内科医会インフルエンザ研究班)

15:00-15:30 総会